

硬くて薄くて畳なの？

モノ わかりの いい話

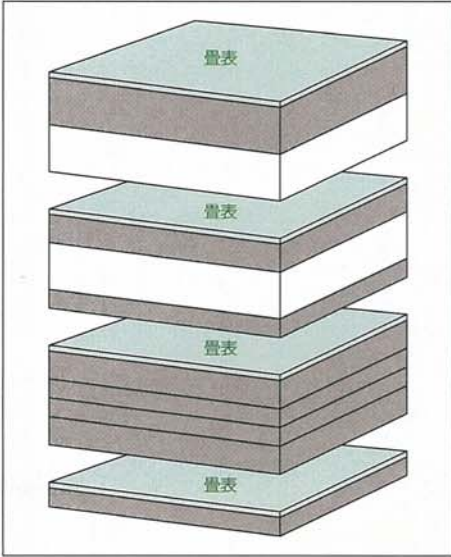


転動で引越してきた新築マンション。団地サイズの四畳半は「こほほ」の狭さだが、新しい畳の香りはやっぱり気持ちいい。さっそく寝ころんでみたところ、今度は硬さに驚いた。気がつかないうちに、足元で畳は変わっていた。どんな中身で、どんな厚さでも、い草で包んであれば畳なの？

畳は、角がピンと立ってさすがの威厳。座ると体がしんやり受け止められる感じは、気分だけではないだろう。

「今あなたが座った畳の床は、四十年使ってます。わらだけで百年はもつ。虫の害かて、いっぺんもありません」昔からの施主さんは、畳替えのときに年寄りの部屋は軟らかうしてくれ、人が集まることは硬くと、注文出される「わら」は、そんな高度な会話があったとは。うちの畳はすいぶん違う。

水分を含むコンクリートの土台の上に直接置いて都合がいい。住宅の造り手からすると、低コストにこしたことはないというわけだ。「おたくの畳は、座布団なしで正座はちょっときついかな」と建設部の新石哲也さん



わらを使わない最近の畳の断面。発泡材と木製ボードを組み合わせている。一番下は厚さ15mmの薄畳。

「まあ、いまの集合住宅の標準でしょう」とは大坂畳商

工業協同組合の話。わら以外の畳床の素材は主に、木の繊維を固めたものと、発泡材の二種類。一種だったり、組み合わせたりして使われ、タイプ別に日本工業規格（JIS）がある。生産量では、わらを使わない畳床が五割を占める。

和室にベッドを入れ、たんすを並べて暮らしてきた我が身を反省します。でも「畳は文化」というならば、プロの

「ゼネコンからの注文は厚さ十五ミリ。これで畳らしくていわれども」と大建工業畳材部の前田英男さん。多少でもクッションのきくプラスチック素材を使うなど各社改良中を口にするが、乗ってみるとまるで板の上のごさ。住むうちに反ってくる心配も。「人にやさしい」はずの住宅の畳がこれでもいいのだろうか。

皆さんも「シロウトはわかってない」で片づけずに情報公開をお願いします。これから住宅の購入を考えているみなさん、モデルルームで畳のチェックをお忘れなく。

わら使わない畳床5割 居住性より虫害を重視

もしないけれど、まあ慣れますよ」と言われてしまった。稲刈りも機械化が進んで、長いわらが手に入りにくくなったし、機密性の高い最近の家はカビや虫の問題が起きやすい。日中は閉め切ったままの我が家も思っても、畳にとっては生きづらい環境に違いない。それでも畳が恋しいのは人情。「マンションにくつろぎの場として六畳の和室がほしいというお客様の声は根強い」（三井不動産広報担当者）というのが現実だ。

実は、もっと硬い畳が増えている。業界内で薄畳と呼ばれ、バリアフリーをうたう住宅で使い始めている。奈良県橿原市で畳床を作る山下保幸さんに聞くと「この五年ほど注文が来ます。畳替えをしようと思えば、畳表と畳床が縫わずに接着テープでとめてあって、一緒に床のモルタルまではがれたり、折れたり。これでは、使い捨ての消費財ですよ」。

記者の一言

「おたくの畳は、座布団なしで正座はちょっときついかな」と建設部の新石哲也さん